

『木造基本講座②』講習会（2025/5/13）

この度は講習後のアンケートへのご協力ありがとうございました。

多くのご意見いただきありがとうございました。主催者、講師ともに感謝いたします。

アンケートにいただいております質問への回答をさせていただきます。

<感想・質問>

- ・火打ち構面と水平構面について水平面の剛性を高くするという点で同じものだと思っていたのですが、その違いをもう一度教えてください。

→大きく言いますと同じ水平構面なのですが、「火打ち構面」とは施行令の「・・・には火打ち梁等を設けること・・・」とありこれを火打ち梁以外のもので賄うには告示691号に適合させて設計します。

この場合には火打ち梁の水平剛性同等以上となっていれば良いので、この考え方を「火打ち構面」と呼ばせていただいています。水平構面とは住宅性能評価や許容応力度計算の水平剛性を確保する床倍率（床構面）では鉛直構面とのバランスを見て必要耐力を決めるものとなります。

- ・アンカーボルトについて、2階建て住宅でスクリー座金を用いた場合、講師のご経験上引抜き耐力不足となることもあるのでしょうか。

→カットスクリー等の商品は一般的に通常の座金 t4.5x40x40 と同様に最低耐力を 6.4kN としていますので机上の計算では不足するということはないですが、土台天端よりアンカーが出ないように施工する際に残すネジ山長さ不足にて耐力が不足するケースがありますので、講師（山中）はアンカーボルトを2割ほど割り増して設置するようにしております。

また、N値計算上の10kN金物設置の際にカットスクリー等で兼ねると8.2kN必要なものが6.4kNしか発揮できない、などということがあるので柱頭柱脚金物の選定時には要注意です

- ・地盤の地耐力の計算式は告示のものでなく学会のものが良いというお話でしたが、具体的にご教示いただけると幸いです。

→告示式 $q_a = 30 + 0.6N_{sw} \text{ kN/m}^2$

学会式 $q_a = 30W_{sw} + 0.64N_{sw} \text{ kN/m}^2$

上記の通り W_{sw} を考慮するので不利側に出るようになっている

告示式はどのような計算をしても30kN/m²以上の結果となる

このような内容から適正な数値を導くには学会式の方が好ましいです。

- ・ありがたい内容でした。
- ・どのような条件下においてもバランスという事が何よりも大切であり、その視点を見失わない事が、ひいては構造的にも安定した建物、人命を守ることのできる空間になるということを改めて認識させていただきました。
- ・基準を遵守しても使用上の支障が発生することについて纏められていてとても役立つと思いました。
→評価いただきありがとうございます。今後の励みとなります。

<次回以降の講習会のテーマのご希望がございましたらご記載ください。>

- ・今回は構造に焦点が当てられていましたが、木造住宅の標準仕様の解説などもお聞かせいただければ幸いです。

→今後の運営の参考にさせていただきます。

- ・先生が「よくあるのがそのポイントをすっ飛ばして設計してしまって、後から訴えられて大変な事になった事例はごまんとある」なんて仰っていましたが、失敗から学ぶ～シリーズで色々な角度から大きなミスからよくあるやりがちなものまで実際の事例を写真や図解で説明して下さったら面白いなと。

→面白そうですね。過去にそういった内容ばかりをテーマに私塾を開催していたこともありますので、今後の運営の参考にさせていただきます。

- ・在来軸組工法と GLT 工法についての比較や応用についてご教示ください。

→今後の運営の参考にさせていただきます。

<木造特別委員会へ期待する内容はありますか？>

- ・基本講座①②と受けて自身の不勉強な部分について沢山知ることができました。今後教えていただいた内容・書籍をもとに復習して実践に活かせるようにしたいと思います。協会の会員ではないのですが、木構造について分からない点など質問させていただくことは可能でしょうか。

→必要に応じてメールなどにて木造特別委員会宛でお寄せいただければ可能な限りお答えさせていただきます。

- ・引き続きよろしくお願いいたします。

→こちらこそよろしくお願いいたします。

- ・このような委員会があり、見識の高い方々がいらっしゃって個々の案件の入口の相談から、もちろん仕事としても協力してもらえるとと思うと心強い限りです。その時のために共通の認識をこちらが持つてないとお話もできないと思いますので以降もこちらのレベルを上げるべく講習に参加させていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

→こちらこそよろしくお願いいたします。

- ・基準を遵守しても使用上の支障が発生する項目の一覧表があると良いと思いました。

→今後の運営の参考にさせていただきます。